



情熱を胸に

「いすみ」を想い

立ち上がる

決断を致しました。

自民党
公認

小路 正和

こうじ まさかず

46歳



小路正和後援会

検索

後継者、小路正和君を
よろしく願っています

小路正和後援会会長
千葉県議会副議長

山口 登



私が小路正和後援会会長となった理由は大きく次の三つです。

一つは、十二年前の選挙の後の出来事です。小路君は私と競い破れましたが、翌日からすぐ駅前立ち、支援者宅にもあいさつに回っていました。私はこの姿を見て「あの若さで大したものだ」と思い感心しました。

二つ目は思いやりと優しさに満ちたその人柄です。この人物は県会議員になっても威張ったり冷たくなったりしません。私が自信をもって約束します。

最後に、私の後継者として小路正和君が自民党から公認をいただいていることです。

私もあらゆる機会をとらえ応援します。皆さんも家族や知人、近所に強く働きかけてください。どうか皆さんのお力で小路正和君を千葉県議会に押し上げてください。

どうぞよろしく願っています。

小路正和の逸話1

未曾有の大災害をもたらした東日本大震災から、四年の歳月が経ちました。当時、発災から十日後の話です。



当時「女川」の様子

被災地は惨憺たる状態で、高速道路等の交通網が閉鎖され、情報も混乱し、一般の人が被災地に入れる状況ではありませんでした。そのような中、様々な困難を乗り越え「いすみ市」から東北の被災地に救援物資を届けた人たちがいた事を皆さんはご存知でしょうか？

小路正和は三月二十一日出発の計画を立て仲間達にメールで呼びかけました。

「今、何をしている？何を見ている？何を感じている？とにかくまず行動しよう」

若者たちは感動で震え、小路正和と共に被災地に向かう決意をしました。

当日十一人の仲間が集り、地元の多くの皆様のご支援でト



小路正和の呼びかけで集まってくれた人々

トラック2台バス1台に目一杯の救援物資を詰め込み被災地向かいました。不眠不休の運転で様々な困難を乗り越え被災地の宮城県「石巻」「女川」「尾浦」に無事救援物資を送り届ける事が出来ました。



最後に辿り着いた避難所「尾浦」保福寺

最後に、被災地に到着時の小路正和のメールをご紹介します。

「あまりの惨状に絶句です」「涙が止まりません」

小路正和の逸話2

今から十四年前、小路正和は少年柔道教室を先輩や仲間と共に立ち上げ、愛の溢れた指導で、柔道を通して子どもたちへ伝えてきたこと。

「闘道」精神・・・！それは、「闘志と努力」「礼儀と感謝」「正義と信念」を大切に、極める道

全国大会優勝等多くの結果を残しています。



小路正和が子どもたちに指導している様子

出陣式のご案内

皆様お誘い合わせの上、ご激励賜りますようお願い申し上げます。

日時 / 4月3日(金曜日)

午前9時〜受付

午前10時開始

※投票日 / 4月12日(日曜日)

場所 / 左記地図を ご覧下さい

駐車場 / 上総通運駐車場

(ファミリーマートさん裏)

※会場前のファミリーマートさんの駐車場には駐車しないで下さい。
※駐車場に限りがございますので公共交通機関の使用や乗り合わせでのご来場に御協力お願いします。

